



2019年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年5月15日

上場会社名 株式会社フェニックスバイオ 上場取引所 東
 コード番号 6190 URL <https://phoenixbio.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 島田 卓
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部長 (氏名) 田村 康弘 TEL 082 (431) 0016
 定時株主総会開催予定日 2019年6月27日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2019年3月期の連結業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	1,228	36.1	△311	—	△279	—	△297	—
2018年3月期	902	△26.6	△268	—	△267	—	△270	—
(注) 包括利益	2019年3月期 △331百万円（—%）		2018年3月期 △278百万円（—%）					

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	△101.96	—	△17.5	△13.7	△25.4
2018年3月期	△93.36	—	△13.7	△11.7	△29.8
(参考) 持分法投資損益	2019年3月期 一百万円	2018年3月期 一百万円			

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	1,905	1,542	81.0	527.82
2018年3月期	2,169	1,857	85.6	639.26
(参考) 自己資本	2019年3月期 1,542百万円	2018年3月期 1,857百万円		

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	△159	△64	△64	656
2018年3月期	△187	△451	△62	932

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	743	74.2	△46	—	△42	—	△43	—	△14.86
通期	1,687	37.4	117	—	137	—	122	—	41.94

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2019年3月期	2,922,700株	2018年3月期	2,905,500株
2019年3月期	一株	2018年3月期	一株
2019年3月期	2,917,846株	2018年3月期	2,900,646株

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年3月期の個別業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	1,235	36.9	△161	—	△130	—	△148	—
2018年3月期	902	△26.6	△263	—	△261	—	△263	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	△50.78	—
2018年3月期	△90.93	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2019年3月期	2,208	1,810	1,810	1,940	82.0	619.30	619.30	
2018年3月期	2,277	1,940	1,940	1,940	85.2	668.03	668.03	

(参考) 自己資本 2019年3月期 1,810百万円 2018年3月期 1,940百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況 (1) 当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
4. 補足情報	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善する中で、景気は緩やかな回復基調が続いておりますが、米中貿易摩擦の長期化、英国のEU離脱問題、中国経済の減速など世界経済の不確実性が高まっており、先行きは不透明な状況にあります。

当社の顧客が属する医薬品業界では、世界人口の増加と新興国の所得水準の向上を背景として市場は成長しておりますが、特許切れによる後発薬の台頭、新薬開発の長期化等により製薬企業の収益性は厳しさを増しております。一方で、潤沢な資金を持つ大手製薬企業は、新たな収益源を求めて有望なパイプラインには積極的に投資する等、M&Aによる業界再編が活発な状況にあります。このような状況を背景に、製薬企業では新薬開発を迅速かつ効率的に実施するために、臨床試験等の開発業務を外部のCRO（開発業務受託機関）へ委託するケースが増えており、当社がターゲットとしている前臨床試験におきましても製薬企業の外部委託は拡大傾向にあります。

このような状況のもと、当社グループはマウスの肝臓の70%以上がヒトの肝細胞に置き換えられたヒト肝細胞キメラマウス（当社製品名：PXBマウス）を用いた受託試験サービスを提供しており、世界の手製薬企業が研究開発拠点を置く米国を中心とした海外市場の拡大に注力してまいりました。

現在の主力である肝炎試験（薬効評価）においては、製薬企業での抗B型肝炎薬の開発状況に進展が窺え、特に海外市場で引き合いが活発となってきており、受注高は前年下期からの好調を維持し、売上高は前年同期を大きく上回りました。また、多くの新薬が対象となることから当社グループの成長分野として位置付けるDMPK/Tox試験（薬物動態関連試験、安全性試験）においては、新世代の医薬品として注目されているバイオ医薬分野でPXBマウスを利用した試験が増加しており、売上高及び受注高は前年同期を上回りました。一方、損益面ではPXBマウスの海外生産拠点として設備投資を行っている子会社のKMT Hepatech, Inc. で多額の先行費用が発生したことや新たな疾患モデルマウスの作製を目的とした南カリフォルニア大学との共同研究を開始したことにより研究開発費が大幅に増加し、営業赤字となりました。

この結果、当連結会計年度の売上高1,228,363千円（前年同期比36.1%増）、営業損失311,934千円（前年同期は営業損失268,618千円）、経常損失279,684千円（前年同期は経常損失267,227千円）、親会社株主に帰属する当期純損失297,499千円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失270,791千円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は1,135,002千円となり、前連結会計年度末に比べ204,437千円減少いたしました。これは主に売掛金が105,046千円増加したものの、現金及び預金が276,248千円、製品が24,925千円、それぞれ減少したことによるものです。また固定資産は770,296千円となり、前連結会計年度末に比べ59,568千円減少いたしました。これは主に子会社であるKMT Hepatech, Inc. において、PXBマウス及びPXB-cells生産のための設備投資により工具、器具及び備品が26,582千円増加したものの、のれん償却費等の計上によりこのれんが78,706千円減少したことによるものです。この結果、資産合計は1,905,299千円となり、前連結会計年度末に比べ264,005千円減少となりました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は304,383千円となり、前連結会計年度に比べ83,549千円増加いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が30,000千円減少したものの、その他が51,594千円、前受金が49,196千円、それぞれ増加したことによるものです。また固定負債は58,259千円となり、前連結会計年度末に比べ32,831千円減少いたしました。これは主に長期借入金が26,004千円減少したことによるものです。この結果、負債合計は362,643千円となり、前連結会計年度末に比べ50,717千円増加となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は1,542,655千円となり、前連結会計年度に比べ314,723千円減少いたしました。これは主に譲渡制限付株式の発行により資本金が8,608千円、資本剰余金が8,608千円、それぞれ増加した一方で、親会社株主に帰属する当期純損失の計上により利益剰余金が297,499千円減少したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ276,248千円減少し、656,689千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は159,534千円（前連結会計年度は187,197千円の支出）となりました。これは主に前受金の増加49,196千円、未払金の増加39,580千円があった一方で、税金等調整前当期純損失295,150千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は64,625千円(前連結会計年度は451,611千円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出63,819千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は64,743千円(前連結会計年度は62,995千円の支出)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出56,004千円があったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
自己資本比率(%)	84.5	88.2	85.6	81.0
時価ベースの自己資本比率(%)	302.7	195.3	137.7	109.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	0.5	4.3	—	—
インタレスト・ガバレッジ・レシオ(倍)	98.8	27.2	—	—

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・ガバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

(注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

5. 2018年3月期及び2019年3月期の「キャッシュ・フロー対有利子負債比率」及び「インタレスト・ガバレッジ・レシオ」は、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、記載しておりません。

(4) 今後の見通し

当社グループはメガファーマと呼ばれる海外大手製薬企業が集積する米国での事業拡大をを目指し、2017年11月に完全子会社化したKMT Hepatech, Inc. (カナダ)で、北米でのPXBマウス生産拠点としての準備を進めてまいりました。当社と同品質のPXBマウスを安定的に生産するためには高い技術・ノウハウが要求されるため、経験豊富な生産担当者を派遣し現地従業員をトレーニングするとともに、PXB-cells生産設備などの必要な設備投資を行ってまいりました。2020年3月期は、これまで外注していた海外のPXBマウス生産委託費を削減し、KMT Hepatech, Incで生産したPXBマウス、PXB-cellsを受託試験や共同研究に活用する内製化の効果に加え、売上高についても肝炎試験、DMPX/Tox試験ともに引き続き堅調に推移する見通しから、黒字化を見込んでおります。

次期の連結業績予想につきましては、売上高1,687,988千円(当期比37.4%増)、営業利益117,906千円、経常利益137,634千円、親会社株主に帰属する当期純利益122,579千円を見込んでおります。

なお、為替レートにつきましては、1米ドル110円、1カナダドル82円を前提としております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	932,937	656,689
売掛金	140,209	245,256
製品	46,036	21,110
仕掛品	43,705	56,947
原材料及び貯蔵品	101,806	94,896
その他	74,746	60,102
流動資産合計	1,339,440	1,135,002
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	365,921	386,895
減価償却累計額	△256,126	△268,654
建物及び構築物(純額)	109,794	118,240
車両運搬具	352	352
減価償却累計額	△352	△352
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	172,531	192,217
減価償却累計額	△152,927	△146,030
工具、器具及び備品(純額)	19,604	46,186
土地	296,000	296,000
リース資産	30,487	19,771
減価償却累計額	△5,393	△10,164
リース資産(純額)	25,094	9,607
有形固定資産合計	450,493	470,035
無形固定資産		
のれん	362,372	283,666
ソフトウェア	2,221	3,000
リース資産	2,264	1,568
その他	458	208
無形固定資産合計	367,317	288,443
投資その他の資産		
繰延税金資産	3,399	3,995
長期前払費用	261	160
その他	8,392	7,661
投資その他の資産合計	12,053	11,817
固定資産合計	829,864	770,296
資産合計	2,169,304	1,905,299

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,389	27,337
1年内返済予定の長期借入金	56,004	26,004
リース債務	5,048	5,779
未払法人税等	5,797	10,876
前受金	61,728	110,925
その他	71,866	123,460
流動負債合計	220,833	304,383
固定負債		
長期借入金	48,489	22,485
リース債務	22,774	20,981
資産除去債務	3,014	3,077
その他	16,813	11,715
固定負債合計	91,091	58,259
負債合計	311,925	362,643
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,245,242	2,253,851
資本剰余金	465,152	473,760
利益剰余金	△845,256	△1,142,755
株主資本合計	1,865,138	1,584,856
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△7,759	△42,200
その他の包括利益累計額合計	△7,759	△42,200
純資産合計	1,857,379	1,542,655
負債純資産合計	2,169,304	1,905,299

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	902,366	1,228,363
売上原価	396,632	377,018
売上総利益	505,733	851,344
販売費及び一般管理費		
役員報酬	143,642	140,635
給料及び手当	130,334	206,175
退職給付費用	5,504	6,022
減価償却費	5,610	9,748
研究開発費	176,120	345,585
支払手数料	97,775	111,895
その他	215,363	343,218
販売費及び一般管理費合計	774,352	1,163,279
営業損失(△)	△268,618	△311,934
営業外収益		
受取利息	349	756
為替差益	2,792	5,529
補助金収入	100	24,485
その他	485	3,494
営業外収益合計	3,727	34,265
営業外費用		
支払利息	1,657	1,403
株式交付費	679	611
営業外費用合計	2,337	2,015
経常損失(△)	△267,227	△279,684
特別損失		
固定資産除却損	108	529
減損損失	—	14,937
特別損失合計	108	15,466
税金等調整前当期純損失(△)	△267,336	△295,150
法人税、住民税及び事業税	2,328	2,792
法人税等調整額	1,126	△443
法人税等合計	3,454	2,348
当期純損失(△)	△270,791	△297,499
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△270,791	△297,499

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純損失(△)	△270,791	△297,499
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△7,720	△34,441
その他の包括利益合計	△7,720	△34,441
包括利益	△278,512	△331,940
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△278,512	△331,940

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	2,229,186	449,096	△574,464	2,103,817
当期変動額				
新株の発行	16,056	16,056		32,112
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△270,791	△270,791
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	16,056	16,056	△270,791	△238,679
当期末残高	2,245,242	465,152	△845,256	1,865,138

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△38	△38	2,103,778
当期変動額			
新株の発行			32,112
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△270,791
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△7,720	△7,720	△7,720
当期変動額合計	△7,720	△7,720	△246,399
当期末残高	△7,759	△7,759	1,857,379

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	2,245,242	465,152	△845,256	1,865,138
当期変動額				
新株の発行	8,608	8,608		17,217
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△297,499	△297,499
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	8,608	8,608	△297,499	△280,282
当期末残高	2,253,851	473,760	△1,142,755	1,584,856

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△7,759	△7,759	1,857,379
当期変動額			
新株の発行			17,217
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△297,499
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△34,441	△34,441	△34,441
当期変動額合計	△34,441	△34,441	△314,723
当期末残高	△42,200	△42,200	1,542,655

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失(△)	△267,336	△295,150
減価償却費	24,432	30,083
減損損失	—	14,937
のれん償却額	—	32,952
株式報酬費用	24,084	20,941
受取利息	△349	△756
支払利息	1,657	1,403
為替差損益(△は益)	△4,053	△13,981
補助金収入	△100	△24,485
有形固定資産除却損	108	529
売上債権の増減額(△は増加)	9,383	△107,032
たな卸資産の増減額(△は増加)	△30,915	17,036
仕入債務の増減額(△は減少)	8,927	6,936
未払金の増減額(△は減少)	2,713	39,580
前受金の増減額(△は減少)	52,444	49,196
その他	△10,070	48,284
小計	△189,072	△179,524
利息及び配当金の受取額	349	756
利息の支払額	△1,640	△1,386
補助金の受取額	1,810	20,959
法人税等の支払額	△2,572	△1,845
法人税等の還付額	3,929	1,506
営業活動によるキャッシュ・フロー	△187,197	△159,534
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,537	△63,819
無形固定資産の取得による支出	△1,836	△1,710
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△444,363	—
その他	△875	905
投資活動によるキャッシュ・フロー	△451,611	△64,625
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△56,004	△56,004
リース債務の返済による支出	△3,535	△5,283
割賦債務の返済による支出	△3,456	△3,456
財務活動によるキャッシュ・フロー	△62,995	△64,743
現金及び現金同等物に係る換算差額	△563	12,654
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△702,369	△276,248
現金及び現金同等物の期首残高	1,635,306	932,937
現金及び現金同等物の期末残高	932,937	656,689

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは「PXBマウス事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	米国	スイス	その他	合計
402,686	329,085	95,612	74,981	902,366

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
Gilead Sciences, Inc.	126,010	PXBマウス事業
国立大学法人広島大学	102,513	PXBマウス事業
Hoffmann-La Roche Ltd.	95,612	PXBマウス事業

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	米国	スイス	その他	合計
373,378	545,658	72,457	236,869	1,228,363

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
Gilead Sciences, Inc.	134,250	PXBマウス事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当社グループは「PXBマウス事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

当社グループは「PXBマウス事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	639.26円	527.82円
1株当たり当期純損失(△)	△93.36円	△101.96円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	－円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△270,791	△297,499
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純損失(△)(千円)	△270,791	△297,499
期中平均株式数(株)	2,900,646	2,917,846
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	－	－
普通株式増加数(株)	－	－
(うち新株予約権(株))	(－)	(－)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1 株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった 潜在株式の概要	新株予約権3種類(新株予約権の 数2,225個(普通株式222,500 株))	新株予約権3種類(新株予約権の 数2,220個(普通株式222,000 株))

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) サービス別売上高

		前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)		当第連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
肝炎関連売上	国内	228,100	25.3	217,038	17.7
	海外	274,351	30.4	513,262	41.8
DMPK/Tox関連 ・その他売上	国内	174,586	19.3	156,340	12.7
	海外	225,327	25.0	341,722	27.8
合計		902,366	100.0	1,228,363	100.0

(2) サービス別受注高

		前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)		当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
		受注高(千円)	受注残高(千円)	受注高(千円)	受注残高(千円)
肝炎関連売上	国内	232,085	—	219,138	—
	海外	460,670	216,153	508,457	209,563
DMPK/Tox関連 ・その他売上	国内	164,681	3,001	159,216	5,878
	海外	318,720	147,508	386,681	190,502
合計		1,176,157	366,663	1,273,493	405,944

(注) 当社グループは「PXBマウス事業」の単一セグメントではありますが、事業の傾向を示すためサービス別の売上高及び受注高を記載しております。